

君の夢プロジェクト

— 講話編 —

スポーツや文化活動に打ち込む
子どもたちの
夢をかなえるプロジェクト

学びの表現作家

星 功基さん

大学生時代にピタゴラススイッチなどの製作に携わる佐藤正彦教授の研究室に所属し、理科や数学の教材開発に携わる。子どもたちに学びと表現の面白さを伝えようと日々奮闘中。



1_装置にビー玉を転がして上手くいか試す。 2_グループで意見を出し合い装置を作る。 3_タブレットで入力した感想を共有し合う。

12月15日、比布中央学校体育館で『君の夢プロジェクト講話編』が行われ、後期課程7、9年生70人が参加しました。
君の夢プロジェクトとは、スポーツや文化活動の「プロ」の指導や講話を通じて、子どもたちに「本物」を体験してもらおう取り組みです。
今回の講師は、学びの表現作家の星功基さん。慶応義塾大学環境情報学部在学中時に、ピタゴラススイッチなどの制作に携わる同大学の佐藤雅彦研究室に所属。ピ

タゴラススイッチなどの制作やベネッセコーポレーションで理科や数学の教材開発に携わってきました。
現在は教材の研究開発や絵本の出版など、子どもたちに学びと表現の面白さを伝える活動をしています。
プロジェクトは午前・午後に分けて開催され、午前中はグループに分かれ、体育館にあるものを使ってピタゴラス装置づくりを体験。
午後は、星さんからピタゴラススイッチの制作秘話などを聞き、これまでに作った装置の映像が上映されると、幼い頃から聴き慣れたテーマ曲を口ずさむ生徒も。
最後に星さんから「ピタゴラススイッチは、物の見方を伝える番組。物をいろいろな角度から見てみてほしい」と話があり、生徒を代表して8年生の谷祐輔さんが「バラバラに作った仕掛けを混ぜ合わせるのが面白かった。久しぶりにピタゴラススイッチを見てみようと思います」と話し、お礼を伝えました。

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



※掲載情報は2月1日現在です。

おめでとう
全国中学校スキー大会
(アルペン競技) 出場

比布中央学校8年生の勝見 洸太さんが、2月6日に長野県の野沢温泉スキー場で開かれる「第61回全国中学校スキー大会」の男子ジャイアントスラロームに出場されます。

同校スキー部に所属する勝見さんは、1月12日に小樽市で開かれた全道大会で第11位に食い込み、全国大会の出場権を獲得。道代表は上位15人が選ばれ、自身にとっては初めてです。

1月22日、村中町長を表敬訪問した勝見さんは「道代表として行くからには、完走して結果を残したい。楽しかっただけでは駄目だと思つので、気を引き締めて臨みたい」と誓いました。

中学生の全国中学校スキー大会出場は、比布町にとっても初めての快挙。

勝見さんが所属する比布レーシングスキークラブの太田正二会長は「真面目で練習熱心。ひたむきな努力が実を結んだ」と喜びます。



#026 Kota Katsumi
勝見 洸太さん 比布中央学校8年生
—— 広報びっぶ 2022年4月号で紹介

